平成26年度 経営体育成基盤整備事業 再評価調書

事業名	経営体育成基盤整備事業	地 区 名	坂野2期地区
事業主体	徳島県	関係市町村	小松島市

(事業目的)

本地区は、区画整理を実施することにより、農地の区画形状、道路、用排水路等を一体的に整備し、営農の効率化を図るとともに、水稲と野菜との複合経営を中心とした生産性事の高い農業への転換を図る。

また、本事業の実施により、農地の集団化と大区画化が図られ、これを契機に担い手農業 家に農地を集約し、効率的かつ安定的な農業構造の確立を目的としている。

概 (事業内容)

受益面積 33.7 ha 受益戸数 107戸

主要工事 区画整理 33.7ha 揚水機場 2箇所

総事業費 747,400千円(国50% 県27.5% 市7.5% 地元農家15%)

工 期 平成22年度~平成29年度

(事業の進捗状況)

平成25年度までに、12.6haの区画整理と揚水機場1箇所が完成しており、本年度は6.0haの区画整理と揚水機場1箇所の整備を予定している。

平成26年度末の事業費進捗率は75%となっている。

評

要

(関連事業の進捗状況)

特になし。

価 (社会経済情勢の変化)

農業従事者の高齢化と農業後継者の不足及び農産物価格の低迷や諸資材費の高騰により、農業を取り巻く情勢は非常に厳しくなっている。このような中、区画整理を実施することにより、農業の生産性を向上、営農労力の節減、担い手に農地を集積することにより、農産物直売所「あいさい広場」等への生産基地としての役割も期待されており、効率項的かつ安定的な農業経営を確立することが重要になっている。

(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 特になし。

目 (事業効果の発現状況)

- 1 平成25年度までに、全体の約4割に当たる12.6haの区画整理が完成している。
- 2 区画整理が完了した農地においては、大型機械の導入が可能となり、用排水路の整備 も実施し、営農労力の軽減が図られている。

総費用総便益比=総便益/総費用= 1.33

(受益農家、関係機関の意向)

小松島市、地元土地改良区から、早期完成を要望されている。

(事業の実施方針)

継続して事業を実施する。